

スピーチを通して読みを深める —意見発表を通して抽象的表現を理解する—

- 1 科目名 国語総合（現代文）
- 2 単元名 評論
- 3 教材名 岩井克人「広告の形而上学」
- 4 単元の内容

単元の目標 と評価規準 ・評価方法	<p>①単元の目標</p> <p>ア 抽象的な表現を具体例を用いてイメージしながら理解できる。 (読む能力)</p> <p>イ 本文の構成を理解し、筆者が提言する広告の生み出す「過剰な」差異を読み取ることができる。 (読む能力)</p> <p>ウ 教材について様々な角度から検討して自分の考えをもととする。 (興味・関心・態度)</p>														
	<p>②単元の目標設定の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる生徒たちはテキストを読んで考えたことを自分の知識や経験と結びつけて表現する力が弱い。また、授業には熱心に取り組むが、間違いを恐れ、教師が答えを提示することを待つ傾向がある。そこで「過剰なる差異」に対する賛否を考え、その意見をスピーチとして発表することによって抽象的な表現を具体的に理解させ、同時に現代社会の問題についても主体的に考えようとする態度を養おうと考えた。 														
	<p>③中心となる学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広告が生み出す「過剰なる差異」を具体例を用いてイメージしながら理解し、広告が形而上学的な逆説に満ちていることに気づくことで、資本主義社会の問題について考えを深める。 														
	<p>④言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広告における過剰なる差異」について意見を発表させる。その中で論を焦点化させるために主題を「広告に商品自体を紹介する以上の価値をつけるべきか」にした。 ・接続詞に着目したスピーチ原稿の「型」を提示することによって、原稿を書くことに苦手意識を持つ生徒も容易に取り組めるように工夫した。 ・意見発表を通して論理的な思考力やプレゼンテーション能力を身につけさせることを意識した。 ・意見発表や交流の中で他人の考えを知ることによって、自らの意見を深めさせることを意識した。 														
	<p>⑤評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 35%;">評価規準</th> <th style="width: 30%;">評価方法</th> <th style="width: 25%;">状況Cの生徒への対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 関心 ・ 意欲 ・ 態度 </td> <td> ①話題について様々な立場から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べようとする。 ②目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりしようとする。 </td> <td style="vertical-align: top;"> 観察（机間指導） 点検（ワークシート） </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な具体例を考えるように助言する。 ・メモを取るように助言する。 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 読む 能力 </td> <td> ①文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、筆者の意図をとらえたりしている。 ②文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、詳述している。 </td> <td style="vertical-align: top;"> 観察（机間指導） 点検（ワークシート） </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・難解な表現は、同じ文章の中の関連するものに注目するように助言する。 ・グループ内で意見を交換するように助言する。 ・他のグループの発表内容を参考にするように助言する。 </td> </tr> </tbody> </table>				評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応	関心 ・ 意欲 ・ 態度	①話題について様々な立場から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べようとする。 ②目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりしようとする。	観察（机間指導） 点検（ワークシート）	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な具体例を考えるように助言する。 ・メモを取るように助言する。 	読む 能力	①文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、筆者の意図をとらえたりしている。 ②文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、詳述している。	観察（机間指導） 点検（ワークシート）	<ul style="list-style-type: none"> ・難解な表現は、同じ文章の中の関連するものに注目するように助言する。 ・グループ内で意見を交換するように助言する。 ・他のグループの発表内容を参考にするように助言する。
	評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応												
関心 ・ 意欲 ・ 態度	①話題について様々な立場から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べようとする。 ②目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりしようとする。	観察（机間指導） 点検（ワークシート）	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な具体例を考えるように助言する。 ・メモを取るように助言する。 												
読む 能力	①文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、筆者の意図をとらえたりしている。 ②文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、詳述している。	観察（机間指導） 点検（ワークシート）	<ul style="list-style-type: none"> ・難解な表現は、同じ文章の中の関連するものに注目するように助言する。 ・グループ内で意見を交換するように助言する。 ・他のグループの発表内容を参考にするように助言する。 												

	知識・理解	① 文や文章の組み立て、語句の意味、用法を理解する。	観察（机間指導） 点検（ワークシート）	・辞書で調べるように助言する。
成果と課題	<p>①人に自分の意見をきちんと伝えることの難しさと、伝わった時の楽しさを同時に感じた生徒が多かった。また、この伝える工夫を実生活にも生かしていきたいという感想も多く、生徒の授業に対する意欲やコミュニケーション能力が高まったように感じた。</p> <p>②グループ内で相互に自分たちの原稿を読ませ、代表の原稿を協働して推敲させた。完成度の高い他者の表現や意見に触れることによって、生徒自身で表現や展開の欠点に気づき、主体的によりよい原稿を作ろうとする姿勢が見られた。</p> <p>③50分間で全グループの発表と投票を終えるために原稿を1分間で読める量に制限した。また、苦手意識を持つ生徒も容易に取り組めるように、接続詞に着目したスピーチ原稿の「型」を提示した。そのため、ほとんどの生徒が原稿を時間内に完成させることができたが、似たような内容の原稿が多くできてしまい、深まりが十分ではなくなってしまった。</p>			
アドバイス 及び 留意点	<p>①学習に苦手意識をもつ生徒が特定の生徒を頼ってしまうことがあるので、グループの構成人数を工夫する必要がある。また、クラス内の人間関係が投票の結果に影響しないように雰囲気作りを行うとともに、評価の観点をはっきり示す必要もある。</p> <p>②「過剰なる差異」を具体的にイメージさせるのが目的であったが、広告＝TVCMと限定してとらえてしまい、TVCMの作り方の是非を論点にしようとする者が出るので、適切に助言する必要がある。</p>			
小中学校との 系統性	<p>中学校・3年・A話すこと・聞くこと 「ア 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。」</p> <p>中学校・3年・C読むこと 「イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。」</p>			

5 単元の学習概要

時間	各時間の目標	主な学習活動の流れと指導上の留意点	評価規準 ↓ 評価方法	状況Cの生徒への対応 ↓ 次時に注意すること
1	○第一段落の内容を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> 全文を通読し、本文の概要をつかむ。【Cア】 *留意点 ・学習の見通しをもたせる。 ・読後の疑問点を整理し、全体で共有させる。 ・第一段落を読み、内容を把握する。【Cア】 ・引用されたマルクスの言葉の意味を明らかにし、比喩の示す内容について理解する。 ・「逆説的な存在」から筆者の問題提起に気づく。【Cエ】 	比喩の示す内容を理解し、筆者の問題提起に気づくことができる。 ↓ 発問 観察（机間指導）	比喩の理解が難しい生徒には、身近な具体例で考えるように助言する。 ↓ 授業の中で反応を観察し、必要に応じて個人指導する。
2	○第二段落の内容を把握する。 ○第三段落の内容を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ・第二段落を読み、内容を把握する。【Cア】 ・プディングの例をもとに、資本主義における広告の役割について説明する。【Cイ】 ・第三段落を読み、内容を把握する。【Cア】 ・「過剰な差異」「純粋な差異」とはどのようなものであるか、具体例を用いてイメージしながら理解する。【Cイ】 	広告についての「過剰な差異」と「純粋な差異」を身近な具体例で説明できる。 ↓ 発問 観察（机間指導）	広告についての筆者の定義の理解が難しい生徒には、本文中での言い換えの箇所を探すように助言する。 ↓ 授業の中で反応を観察し、必要に応じて個人指導する。
	○第四段落の内容を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ・第四段落を読み、内容を把握する。【Cア】 ・資本主義社会において、広告の価値がど 	資本主義社会における広告の価値を理解し、それについての	広告の価値の理解が難しい生徒には、身近な TVCM

3	○第五段落の内容を把握する。	<p>のように生み出されるのかを理解する。 【Cイ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第五段落を読み、内容を把握する。 【Cア】 ・広告の考察についての筆者の提言を読み取る。 【Cエ】 	<p>筆者の提言を読み取ることができる。 ↓ 発問 観察（机間指導）</p>	<p>の例で考えるように助言する。 ↓ 授業の中で反応を観察し、必要に応じて個人指導する。</p>
4	○スピーチの準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの手順を理解し、示された論題について考える。 【Cイ】 ・論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる。 【Bイ】 <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの形態と目的を理解させる。 ・個人でスピーチ原稿を作った後に、グループに分かれて代表を決めさせる。 ・グループごとに代表の原稿を推敲し、役割分担を決めさせる。 	<p>本文の内容を論題にそって詳述できる。 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめている。 ↓ 点検（ワークシート）</p>	<p>書き出せない生徒には、ワークシートの文章の型を参考にするように助言する。 ↓ ワークシートを点検しながら、必要に応じて個人指導する。</p>
5 (本時)	○スピーチを行う。 (第1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回スピーチの発表を行う。 <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や場に応じて話すことを理解させる。 ・他のグループの発表を参考にそれぞれの代表原稿を推敲する。 【Cイ】 <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの発表が終わった後に、質疑応答をさせる。 ・第1回終了時の優秀グループを投票によって決定させる。 	<p>目的に応じて、スピーチを効果的に聞き取っている。 原稿の内容を目的に応じてまとめている。 ↓ 観察（スピーチ） 点検（ワークシート）</p>	<p>聞くことに関心が薄い生徒には、他人の考えを知ることによって、自らの意見をより深めることを伝える。 ↓ 授業の中で反応を観察し、必要に応じて個人指導する。</p>
6	○スピーチを行う。 (第2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回スピーチの発表を行う。 <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や場に応じて話すことを理解させる。 ・他のグループの良かったところを確認し、本文の内容と比較する。 【Cエ】 <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回終了時の優秀グループを投票によって決定させる。 	<p>目的に応じて、効果的に聞き取っている。 ↓ 観察（スピーチ） 点検（ワークシート）</p>	<p>聞くことに関心が薄い生徒には、他人の考えを知ることによって、自らの意見をより深めることを伝える。 ↓ 授業の中で反応を観察し、必要に応じて個人指導する。</p>

6 第5時の学習指導案

本時の位置	5時間目（全6時間）		
本時の学習目標	<p>ア 「過剰なる差異」を具体例を用いてイメージしながら理解できる。（読む能力）</p> <p>イ 広告についての筆者の主張を的確に読み取り、要約や詳述ができる。（読む能力）</p> <p>ウ 広告について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べようとしている。（興味・関心・態度）</p>		
事前の準備	<p>① スピーチ原稿を準備しておく。</p> <p>② 班の中で代表発表者を決めておく。</p> <p>③ 意見が発表しやすい雰囲気を作っておく。</p>		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 10分	□本文の内容と本時の課題を確認する。	①本文を黙読し、全文の内容を確認する。	・広告の生み出す「過剰なる差異性」について具体的にイメージできることが本時の課題であることを説明し、板書する。

展開 35分	<p>□スピーチを行う。</p> <p>②各班の代表が1回目のスピーチを行う。</p> <p>広告のもつ「過剰なる差異」を具体的にイメージしながら発表を聞こう。</p>	<p>・各グループ5名程度にする。</p> <p>・目的や場に応じて話すことを理解させる。</p> <p>目標Aに対する評価規準と評価方法</p> <p>[規準] 広告のもつ「過剰なる差異」を具体的にイメージし、内容が理解できる。</p> <p>[方法] 観察（指名・発言）、点検（ワークシート）</p> <p>[状況Cの生徒への手だて] ・聞くことに関心が薄い生徒には、自らの理解を深めるために発表を聞くことを伝える。 ・グループ内で意見交換するように助言する。</p>
	<p>□2回目のスピーチ原稿を作成する。</p> <p>③1回目の優秀グループを投票する。</p> <p>④1回目の原稿を参考に2回目の原稿をグループで作成する。</p> <p>他のグループの発表を参考にし、代表原稿を作成しよう。</p>	<p>・各グループの良い点を指摘し、確認する。</p> <p>目標イに対する評価規準と評価方法</p> <p>[規準] 広告についての筆者の主張を理解し、主題について要約や詳述ができる。</p> <p>[方法] 観察（指名・発言）、点検（ワークシート）</p> <p>[状況Cの生徒への手だて] ・書き出せない生徒には、ワークシートの文章の型を参考にするように助言する。</p>
	<p>⑤2回目の発表の役割を決める。</p>	<p>目標ウに対する評価規準と評価方法</p> <p>[規準] 広告について様々な角度から検討して考えをもち、交流してそれを深めようとしている。</p> <p>[方法] 観察（発言）、点検（ワークシート）</p> <p>[状況Cの生徒への手だて] ・自分の意見と他人の意見を比較してみるように助言する。 ・自分と異なった意見でも、根拠を考えてみるように助言する。</p>
まとめ 5分	<p>⑥1回目の投票結果を発表する。</p> <p>⑦次時の内容を確認する</p>	<p>・全体を講評する。</p>